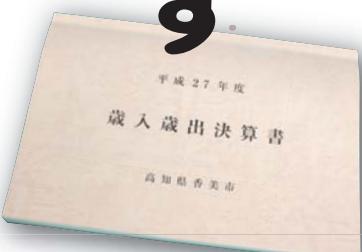


市 の 家 計 簿 で す



平成27年度決算が昨年の9月議会に報告され、12月議会で承認されました。平成27年度決算について報告します。

般会計

歳入 186 億 5,798 万円
対前年度比
3億 6,329 万円増



歳出 172億557万円
対前年度比
1億3,963万円増

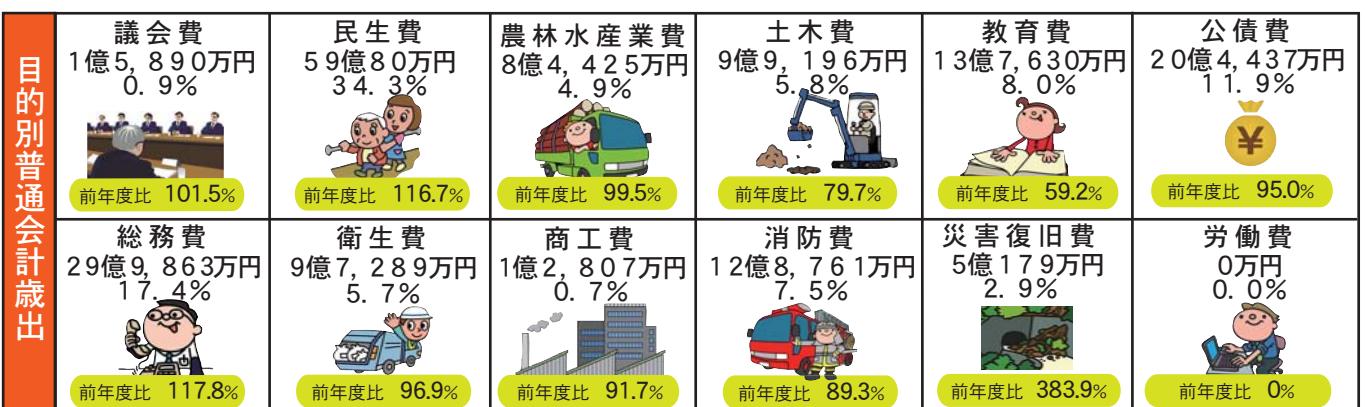
一般会計総括

一般会計総括 歳入総額は、186億5,798万円で、前年度に比べ3億6,329万円(2.0%)増加しました。これは、前年度繰越金の増加、災害復旧事業の増加に伴う県支出金が増加したことなどによるものです。

歳出総額は、172億557万円で、前年度に比べ1億3,963万円(0.8%)増加しました。これは、普通建設事業は減少したものの、災害復旧事業費や補助費等が増加したことなどによるものです。また、目的別普通会計歳出で、教育費が大幅な減額となっているのは、土佐山田学校給食センターの建設工事が終了したことによるものです。

自主財源	依存財源		
市税 24億3,392万円 13.1%	地方交付税 73億8,850万円 39.6%	国庫支出金 19億5,511万円 10.5%	市債 24億 3,540万円 13.1%
使用料・手数料等 22億9,447万円 12.3%	地方譲与税等 7億2,342万円 3.8%	県支出金 14億2,716万円 7.6%	国・県から 目的に対して補助されるお金

災害復旧事業費 5億180万円 2.9%				維持補修費等 3億2,604万円 1.9%			
義務的経費		投資的経費		その他の経費			
人件費 30億 6,506万円 17.8%	扶助費 24億 302万円 14.0%	公債費 20億 4,438万円 11.9%	普通建設事業費 24億 277万円 14.0%	物件費 23億 889万円 13.4%	補助費 18億 1,336万円 10.5%	積立金 2億 1,452万円 1.2%	繰出金 21億 2,573万円 12.4%
議員報酬 職員の給与等	生活保護費 障害者支援費等	借金の返済	道路建設工事費等	消もう品費 光熱水費等	各種団体への 補助金等	市の貯金	特別会計に対する負担金等



※労働費とは、緊急雇用創出臨時特例基金事業などの雇用対策費です。

市には、一般会計以外に特別会計が9会計、企業会計が2会計あります。

特別会議

十 …特定の収入があり、一般会計と分けて経理することで収支を明確にした会計です。

会計名	歳入	歳出	歳入の内一般会計等からの繰入金等
国民健康保険特別会計	44億3,922万円	44億3,631万円	3億8,814万円
後期高齢者医療特別会計	4億3,843万円	4億2,771万円	1億5,634万円
介護保険特別会計（保険事業勘定）	32億6,699万円	31億9,525万円	4億7,829万円
介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	1,716万円	1,716万円	212万円
簡易水道事業特別会計	4億1,450万円	4億1,424万円	1億8,992万円
公共下水道事業特別会計	5億1,326万円	5億1,014万円	2億430万円
特定環境保全公共下水道事業特別会計	1億5,667万円	1億5,656万円	1億2,133万円
農業集落排水事業特別会計	3,689万円	3,687万円	3,515万円
香南香美地区障害者自立支援審査会特別会計	66万円	66万円	0万円

企業会計

…民間企業と同じように事業で収益をあげて運営している会計です。

会計名	総収益	総費用	純利益	一般会計等からの補助金等
水道事業会計	2億1,040万円	1億8,452万円	2,588万円	0万円
工業用水道事業会計	1,213万円	1,213万円	0万円	1,145万円

1 歳出純計 250 億 1,008 万円

全会計の歳出総額は、265億9,712万円で、歳出総額から各会計重複額を除いた純計は250億1,008万円です。前年度と比べると2億6,421万円の増加となっています。

また、全会計の歳入総額は、281億6,429万円で、歳入総額から各会計重複額を除いた純計は265億7,725万円です。前年度と比べると5億3,547万円の増加となっています。

歳入歳出とも増加したのは、各会計の予算規模が大きくなつたことが主な要因です。

